

平成27年 5月29日

参 考 資 料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時発表)

第 5 回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

本日、次のとおり標記協議会が開催されましたのでお知らせします。

- 1 日 時 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 15 時 30 分 ~ 16 時 5 分
- 2 場 所 県庁新庁舎 8 階 議会大会議室 (横浜市中区日本大通 1)
- 3 出席者 防衛省南関東防衛局長、県副知事及び厚木飛行場周辺 9 市 () 副市長等
横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市及び東京都町田市

4 結果概要

(1) 国からの説明要旨

ア 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について

岩国飛行場においては、KC-130 部隊の移駐に必要な施設が完了し、同部隊の普天間飛行場からの移駐が昨年 8 月に完了している。また、輸送ターミナル地区において、駐機場や格納庫の整備、空母艦載機地区において、格納庫や司令部関連施設の整備、コミュニティ地区において、家族住宅や学校等の整備を実施している。

愛宕山地区において、家族住宅等の施設整備に先立つ造成工事を完了し、現在、電気や給排水といったユーティリティの整備に着手している。

祖生通信所地区の通信施設については、設計が完了している。

全体的に移駐の整備は着実に進捗している。引き続き、「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」を活用して、移駐事業の迅速かつ着実な進捗に最大限努めてまいりたい。

イ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担の軽減策について

住宅防音工事については、平成 26 年 6 月に対象となる住宅の建設年次を緩和したところであり、引き続き、促進に努力していきたい。

(2) 自治体からの発言要旨

移駐による騒音問題の抜本的な解決を市民は切望している。市民負担がどのように軽減されるのか、見通しを示していただきたい。

市民は長年騒音に苦しんでおり、一日でも早く移駐が完了するようお願いする。

移駐までの間の騒音被害軽減策についてしっかり取り組むよう求める。

住宅防音工事助成をはじめ周辺対策を拡充するなど、負担軽減に向けた取組をいっそう推進していただきたい。

恒常的訓練施設の選定状況等についても、情報提供をいただきたい。

2017 年頃とされる移駐時期を見据えると、今後は、よりきめ細かな情報提供をいただきたい。

(問い合わせ先)

厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会事務局

(神奈川県政策局基地対策部基地対策課)

課 長 井上 (045)210-3370

副課長 三森 (045)210-3371